

令和6年度 第2回目黒区芸術文化振興計画改定懇話会 会議録

名称	令和6年度第2回目黒区芸術文化振興計画改定懇話会
日時	令和6年10月4日（金）18時30分～20時30分
会場	目黒区総合庁舎1階 E会議室
出席者	垣内委員、大野委員、前山委員、岡田委員、奥津委員、原田委員、青木委員、橋委員、河村委員、山本委員、青木委員 <事務局>文化・交流課長、文化・観光係長、文化・交流課係員
欠席者	中務委員、瀬沼委員
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 文化・スポーツ部長あいさつ 3 委員紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎調査について (2) 計画総括について (3) 計画骨子案（目次）について (4) アンケート速報について (5) 今後の予定について 5 閉会
配布資料	資料1 目黒区の芸術文化の現況 資料2 目黒区芸術文化振興プランの実績および評価報告 資料3 新たな「めぐろ芸術文化プラン」骨子案の検討 資料4 目黒区民意識調査概要 資料5 小学生・中学生アンケート調査概要

発言内容等	
1	開会
	(開会あいさつ) 委員の紹介、資料の説明、確認
2	議題
	(1) 基礎調査について
	<p>【国の動向等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の動向に関して懸念がある。経済価値への偏りが見られる。教育機関である美術館が採算性を問われる。教育は投資である。その点を忘れないよう進めていく必要がある。 ・国・都・区の芸術文化の現況について言葉の整理が必要である。これまでの法改正や文化芸術基本法の制定背景も抑えて内容を検討する。 <p>【基本計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査について芸術文化に関する施策への関心が低いことが懸念される。他の区ではどうか。 ・芸術文化が薫るまちは、時間の積み重ねで生まれるものであるため、目黒区の芸術文化の歴史を掘り下げるとよい。 <p>【区立美術館について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目黒区立美術館は歴史的に見ても重要である。ワークショップも初めて目黒区立美術館が始めた。目黒区立美術館の役割を継承してほしい。 ・休館中のアウトリーチ活動については、学芸員の負担も考慮し計画的に取り組む必要がある。 <p>【その他について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親世代は伝統芸能への関心は低いと言われるが、子どもは興味を持って観る。子どものうちに親しんでもらうことが必要。 ・歴史的なことを振り返ることも重要である。リサーチすることで目黒区の特徴を明確にしてはどうか。 ・近隣の大学では特徴的な取り組みがなされており、大学施設との連携も重要である。 ・観光まちづくりの推進について、区外からの来訪のインセンティブの検討が必要である。目黒ならではの歴史を掘り下げて戦略的に仕掛けることやマーケティングが必要である。 ・基本計画のアウトカムが必要である。資料1～3についてはさらなる検討を進め、目黒区の施策であるため目黒区の現況を充実させることが望ましい。

(2) 計画総括について
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の資料を深掘りしてD評価の事業については担当者にヒアリングするなどして課題を洗い出してはどうか。 ・文化団体が集まった協会にヒアリングすることも考えられる。データ分析の後に検討を進めていくことが必要である。 ・連携に係る指標の事業が弱いのではないか。 ・本資料をベースとして個別ヒアリングする主体を検討する必要がある。評価側と実践側の齟齬も考えられるので様々な視点からの評価があると改善のポイントが見えてくるのではないか。 ・区民意識調査においての課題と事業を照合し、課題を検討する必要がある。どこに課題があるかを明らかにする必要がある。
(3) 計画骨子案(目次)について
<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画の振り返りを追加する。 ・推進体制については区以外の主体も含む推進体制とする。 ・障がい者の芸術文化活動は、この計画の様々な個所で包含することで問題ない。
(4) アンケート速報について
<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の結果については次回の懇話会で分析結果を確認する。 ・対象地域の施設の有無で、地域ごとのアクセシビリティが変わるのでその点も考慮した分析方法を検討する。 ・インターネットと施設での鑑賞体験について差異を確認するほか、小学生と中学生の差、どの分野の文化体験が足りていないのかを分析する。 ・回答数が少ない場合、統計的に有意と言えない可能性がある点に留意する。
(5) 今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・次回の懇話会は1月～2月を想定。
3 閉会

以上